

第 50 回 理事会議事録

1.開催日 2025年12月6日(土) 14:00~16:30

2.開催場所:各自宅等にてZoom会議に参加する。

3.理事 23名中 15名が出席し定足数を満たした。

(出席)村越 真 前田(大里)真理子 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 今泉知也 小林 力 吉村年史
加納尚子 中野智美 市橋国之 沢本悠貴 千葉望央 石川翔太 野村善弥 犬尾英里子(視聴のみ)

(欠席)野田聖子 石澤俊崇 条早穂 野中好夫 大野徳子 田中紅音 川瀬智尋

監事:(出席)齋藤宏顕 中川義宏 (欠席)齋藤和助

顧問:杉山隆司 愛場庸雅

事務局:小野賢二 山本賀彦(記録)

議長:定款第32条により、前田(大里)真理子代表理事を指名した。

審議事項

第1号議案 アンチ・ドーピング委員会委員追加の承認(鹿島田業務執行理事)

アンチ・ドーピング委員会委員に世代交代も意識し、2016年に大学に入学した看護士の山根萌加さんを追加する。

以上、審議の結果、出席理事総数14名のうち賛成14名により原案を承認した。

第2号議案 役員候補者選考規程改正の承認(今泉業務執行理事)

ガバナンスコードの適合審査において、「理事の在任期間の例外」と「最長在任期間に達した理事を再び選任する場合の期間」「理事の年齢期限」の3点について指摘されたので役員候補者規程 第3条を改正する。

以上、審議の結果、出席理事総数14名のうち賛成14名により原案を承認した。

第3号議案 日本オリエンテーリング競技規則改正の承認(高島業務執行理事)

IOFの競技規則が改訂されたので、それに伴って日本の競技規則の見直しも実施した。

主な改正点は、以下の2点。

2.2 国際大会の例示の追加とJOAの競技規則を優先する場合のIOF・EAを通してIOFフット委員会と協議することの追記

9.2 抽選の結果、同一クラブ・チームの競技者が連続した場合は前後の競技者と入れ替えるなどして連続しないようにすることが望ましい。の追記

以上、審議の結果、出席理事総数 14 名のうち賛成 14 名により原案を承認した。

競技規則に関する報告事項:

令和7年10月開催の全日本大会における未帰還者の発生に伴い、安全対策をガイドラインの前文に追加した
ガイドラインについても、ブリテン3等に遮熱対策を追加やディスクリプションケースの大きさや外国人の表彰等
について改正を実施した。

(質疑)

Q:全日本大会における外国籍選手の扱いに関する方針は、学生大会等も守った方がいいか。

JOAとしての考えはあるか。

A:あくまでも全日本大会の方針です。エントリについては参考にしてもらった方がいい。

Q:一般大会では適用されないという、明確な方針を競技委員会から出してもらった方がいいのではないか。

A:扱いに関する方針は、全日本大会のように登録がある大会のみで、他の大会を拘束するものではないと
考えている。競技委員会で方針を記載することを検討する。

報告事項

1) WMG2027 準備状況報告(高島業務執行理事、愛場顧問)

神戸市がオリエンテーリング(スプリント)開催地を返上したことから、世界マスターズ選手権(WMOC)の
併設開催が困難になっていた。代替地を探した結果、香美町での開催が可能となり、WMOC併設開催
が実現できることになった。大会要項は、近日中に公開される見込み。費用が課題である。

大会概要 日程 2027年5月21日~28日

2) WSOC2026 準備状況報告(高島業務執行理事)

開催まで3ヶ月となり、競技地図作成およびエントリ受付業務が大詰めとなってきた。

平日運営できる人、語学ができる人が運営者で不足気味である。

村越:実行委員長として収支、予算を心配している。

大会概要 日程 2026年3月1日～6日

3) 業務執行理事報告（技術・国際大会担当：高島業務執行理事）

担当分野は、競技委員会、地図委員会、国際委員会、国際大会。

AsJYOCとデフリンピックは今年開催されており、既に終わっている。

特記事項として、全日本ミドルの捜索活動では、ドローン飛行による捜査活動に従事した。

4) 日本代表の長期強化について（鹿島田業務執行理事）

コーチング体制を確立しナショナルチームとしての活動を強化することを計画している。

予算規模は年間300万円から350万円程度を想定している。

2027年ハンガリーのWOCで結果を出すことを優先で考える。

海外コーチとの契約を考えている。将来を考えて、日本人コーチも育成したい。

野村:現在、JMSCAではスキーモーも海外コーチを雇っており、現地で大会の前後に指導を受けている。

昨年からマーケティング委員会を立ち上げて活動している。

5) 業務執行理事報告（総務担当：今泉業務執行理事）

6月に業務執行理事に就任し、以下のような仕事を実施した。

財務関係 収支構造の分析、関係業務執行理事等とのディスカッション

総務関係 役員候補選考規程の改正

JOA登録についての検討

事務局会議の出席

広報関係 全日本ミドルの事故についてのメディア対応、会員向け説明会での説明

JOAニュース、理事会だよりの原稿チェック

6) デフリンピックの報告（村越副会長）

11/15,16,20,21,23に大会は実施。

参加者 16ヶ国 男子33人 女子24人。トラブルなく終了した。

スプリントは、日比谷公園を使用。メディアの注目度も高かった。

マルチの国際大会での運営ノウハウ継承、メディアの注目を広報・普及につなげる、
デフ選手の強化が今後の課題。

(質疑)

Q: 観客(観戦者)の数字をもらった方がいいのでは?

A: 日比谷は400人、大島は80人ぐらいだったと記憶している。

(追加報告:鹿島田業務執行理事、大里副会長)

1月に反省会宿の予定がある。

マルチの国際大会としては、2027年ワールドユニバーシティゲームズの正式種目としてスキーオリエンテーリングが入った。

7) アジア選手権の日程変更（村越副会長）

偶数年に開催されている。アジア選手権を毎年開催しようという意見がある。

12月に1次のアンケートに回答しないといけない。来年の6月に評決の予定。

8) 全日本ミドルの行方不明事案について（村越副会長）

10/4 全日本大会(ミドル) M80Aに参加されたAさんが行方不明になった。距離は1.5km。

6番コントロールの記録と同じクラスの方の目撃情報を最後に消息がわからなくなつた。

捜索活動、発見等の経過を説明。10/12より有志による捜索を開始。10/18に発見。

今後、事故調査委員会をたちあげる予定。11/4にお別れの会を実施済み。

9) JOA登録について（信原業務執行理事、大里副会長）

データベースの整備を行うイメージ。

デモを大里副会長が実施。将来的には、マーケティングにも使いたい。

討議・意見交換

1) 公認大会の在り方(高島業務執行理事)

過去の経緯を皆さんに認識していただきたい。公認大会が少なくなっている。

岐阜のねんりんピックが公認大会だったが、参加者は少なく170名だった。

2021年に公認大会改革ワーキンググループから報告書(実行計画。提言)が出ているが、現状は実行に移されていない。

(質疑、意見など)

- ・2021年は全日本大会の持ち回りとかいろいろ検討していた時期。学生からも公認大会を開かなければいけないのかといった質問もあった。
- ・全日本大会開催の持ち回り対応とか押しつけになっていた。全日本大会は改革されたが、公認大会は魅力がない大会のイメージがついている。
- ・ランキング大会だけではよいのではないか。ランキング大会と一本化できないか？ その方が世界の流れにもあっていい。
- ・公認大会はBランクのランキングイベントになっている。
- ・名称の話にとどまらず、「オリエンテーリングの発展」「選手の強化」といった何をすべきかから考えた方がいいのではないか。
- ・公認大会が避けられている理由は、競技規則に従わないといけないのが、原因になっていると思う。クラスが多い等。
- ・学生大会を公認大会にしようとすると、公認料がかかり、年の近いEAを選びにくくなるので、コストがかかり、自由度も低くなる。学生は公認大会を開催するよりも出たい。
- ・現在では、事前の広報、アピールなどで、テレイン、コースがよくないと参加者が今は集まらない。公認料は、それほど高くないので厳しくないのではないか。
- ・参加費に会員支援金が乗るので、若い世代には重荷に思われる。EAに何を求めるかは考えた方がよい。
- ・今後は、業務執行理事で勉強会を開き、再検討を進める。
- ・説明のあった内容は2021年での理事会で通っていることなので実行に移した方がいい。
- ・選手側の意見が欲しい。
- ・ランキングB大会は、認識されれば響くのではないか。ランキング大会と公認大会の質の差が現状はよくわからなくなっている。
- ・アンケートをとってもいいと考えている。

2) JSCの助成金(事務局 小野)

- ・来年度のJSCの助成金申請が始まっているので、申請がある委員会を管轄する理事の方はサポートをお願いします。
- ・今年度、くじ助成で、全日本リレー、全日本スプリントが認められたので、昨年度までは基金助成を申請していたが、来年度もくじ助成を申請して欲しい。
- ・総務委員会としてフライヤー作成のくじ助成申請も忘れないようにしてください。

本日のオンラインシステム会議は、終始異常無く議題の審議を終了したのを確認した。

第50回理事会議事録 以上

2025年12月8日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長 代表理事「副会長」 大里(前田)真理子 印

監事 斎藤 宏顕 印

以上